

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		仙台市立町たんぼぼホーム		公表日		令和8年3月19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラス10名未満のこどもとその保護者であり、保育室のスペースにもゆとりがある。</li> <li>登園人数が多い際には、園庭と室内の2グループに分け、時間差で活動を提供することで、十分に遊ぶ時間を確保できるように配慮しています。</li> <li>通常の活動では適切である。行事になるとスペースが狭いことがあるので、園庭あそびを入れたり、参加者と見学者に分ける等で活動スペースを確保している。</li> </ul>		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>登園人数やこどもの状態に合わせて、日々職員の配置数を臨機応変に変更している。</li> <li>単独通園を行っているため、全員来た時には必要な人数になっている。</li> </ul>		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の支度など、自分で取り組めるよう構造化している。</li> <li>必要に応じて、視覚的、物理的な構造化を行い、分かりやすい環境を整えている。</li> <li>一日の流れが分かるように写真で提示している。</li> </ul>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動終了時には館内の清掃や玩具の消毒を行っている。また肢体不自由児には床上で活動できるようにマットを敷く等子どもの状態に合わせて環境を整えている。</li> <li>室温がちょうどよくなるよう、その都度空調や換気を行い、調節している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季は床の冷たさについて保護者よりご意見をいただくことがある。</li> </ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要時使用できるように配慮している。</li> <li>痲痺等で気持ちを落ち着かせたい時には、保育室外で過ごせるように配慮している。</li> </ul>		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、ねらいを立てた上で活動を行い、活動後に振り返りを行い、支援改善に努めている。</li> <li>日々の全体反省、年間反省などを行っている。</li> </ul>		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向けの評価表を回覧し、保護者の意向等を職員間で共有し、改善点等を話し合う機会を年度末に設けている。</li> </ul>		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期及び必要に応じて行っている。</li> <li>職員会議等で意見を共有し、より良い療育に向けて業務改善に取り組んでいる。</li> </ul>		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>運営指導で指導、助言を受けた際は、職員に周知、改善点を共有し、改善に努めている。</li> </ul>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>たんぼぼホーム6園で行っている研修や、階層ごとの研修などを行っている。</li> <li>必要な研修について職員が受講を希望することができる。必要な研修の機会が保障されている。</li> <li>研修に参加できなかった職員には、資料や研修報告書を供覧している。</li> </ul>		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プログラムを作成し、法人のホームページで公表している。また、園内に掲示している。</li> </ul>		

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通じたアセスメントや保護者とのやりとりを通じてニーズや課題を捉えた上で作成している。</li> <li>・アセスメントシートを利用したりモニタリングの際に保護者のニーズを確認したりしている。</li> <li>・日々の活動の中で十分にアセスメントを行い、親子通園のため、保護者とニーズや課題を話し合う機会を多く設けている。</li> </ul>	・どの職員も適切なアセスメントを行えるよう学びを深めていきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議で児童発達支援管理責任者とクラス担任全員で検討し、計画を作成している。</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づいて、日々のねらいを立て活動を行っている</li> <li>・支援計画を確認しながら活動のねらいを立てている。</li> </ul>	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシートを用い、子どもの姿を分析、確認している。</li> <li>・支援会議以外の日々の振り返りの再にも子どもの状況を確認している。</li> </ul>	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドラインに添い、各項目を踏まえながら、子ども支援に必要な具体的な支援内容を設定している。</li> <li>・支援会議の際に支援内容に関して、実際に取り組んでいくことを具体的に想定しながら設定している。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで行い、計画している。</li> <li>・前月のクラス会議で立案している。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの活動のねらいを定めた上で、その時々の子どもの状態に合わせた活動を計画している。</li> <li>・繰り返し行うことで自信をもって活動に参加できる児もいるため、あえて繰り返し行っていることもある。</li> </ul>	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動のみでは経験できない活動を個別活動時に取り入れるようにしている。</li> <li>・児童発達支援計画に沿って、集団活動と個別活動を行い、各子どもに合った支援を行っている。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の流れや内容、職員の配置等細かく確認し、チームで連携して支援を行えるように努めている。</li> <li>・朝の打ち合わせで確認している。</li> <li>・前日に休んでいた職員にも共有できるよう、毎日確認している。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後には、職員間で打ち合わせを行い、療育内容や支援を振り返り、気づいた点や改善点などを共有している。</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の打ち合わせ時には、支援の検証を行い次回以降の改善点を挙げ、日誌に記録を取ることを徹底している。</li> <li>・毎日記録を作成し、日々のねらいに沿った話し合いで改善点を検討している。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に児童発達支援計画のモニタリングを行い、見直しの必要性を判断している。</li> </ul>	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任と児童発達支援管理責任者が参加している。</li> </ul>	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は連携の機会は少なかったが、必要に応じて病院でのリハビリ等に同行するようにしている。</li> <li>・区の家庭健康課と、情報交換を行っている。</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援シートを作成し、各子どもへの支援内容等の情報共有を行っている。 ・移行支援シートを作成し、それに基づいて引き継ぎを行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・園から直接小学校に進む児がいなかった。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・他の児童発達支援センターと協働でペアレント・プログラム等の支援プログラムや研修会、見学会を実施している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	○		・研修の機会が多く、希望者は積極的に参加できている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・区の子育て支援者交流会や地域のご近所会議等に参加している。 ・自立支援協議会の傍聴をしている。	・今年度、初めて自立支援協議会を傍聴した。今後も継続していきたい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・近隣の認定こども園や児童館の行事や地域の行事に参加している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・親子通園の形態をとっているため、日々の活動の中で、こどもの様子を保護者と共有している。 ・こどもの姿や状況、課題をリアルタイムで保護者と確認し、共通理解に努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・体系だてて保護者勉強会を行っている。	・多くの保護者勉強会を実施しているが、お子さんによっては保護者との分離が続いてしまうことがあったため、実施のタイミングを検討していきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談の時間を設け確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画面談において、保護者と子どもの姿を共有しながら、児童発達支援計画の内容を確認し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者の状態へは常に気を配り、話しやすい雰囲気を作るように心がけ、必要時には速やかに相談や面談、助言を行っている。 ・丁寧な対応を心がけるとともに、相談内容をクラス職員で共有している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・昼食後、保護者が交流する時間を設けたり、グループワークとして保護者同士がゆっくり交流できる時間を設けている。 ・通常保育中にプレイクタイムを設けたり、年に数回保護者の交流会を行い、保護者同士で交流したり、情報交換する機会を設けている。また、年に2回きょうだい児向けの交流会(Hoとキッズ)を開催している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談があった時には、その都度面談するための時間を設定している。 ・いつでも相談できることをミーティングで伝えたり、掲示で知らせたりしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月の園だより、クラスの予定表を配布している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が書かれている書類は、鍵付きの書庫に保管し、鍵はロックのかかるキーボックスに保管している。 ・施設外に個人情報を持ち出さないように徹底している。守秘義務を厳守している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・各々の特性や性格、状況に合わせて分かりやすい手段で意志の疎通や情報伝達に努めている。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・たんぽぽまつりやおたのしみ会に近隣の認定こども園を招待している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを職員間で共有し、保育中には月1回、様々な想定で（地震、火災、弾道ミサイル、防犯等）避難訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月、様々な災害を想定した訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・入園時、次年度継続時に健康記録カードに記入いただき、必要に応じて保護者から詳しく内容を聞き取りしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・今年度は、医師の指示が必要な食物アレルギーのお子さんの在籍はなかった。保護者とは常に確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき、定期的な遊具点検、室内の安全確認を行っている。 ・園外に出かける際は、必ず下見を行い、「散歩計画表」に記載している。 ・職員が救命講習を受講する機会を設けている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・入園時に説明し、安全計画を掲示することで周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・職員全員で確認し、改善、再発防止について検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・月1回、職員会議時に虐待防止委員会を行い、虐待の疑いのある家庭や場面、保護者からの聞き取りについて全職員共有し、対応について意見交換している。 ・毎年、虐待防止の研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束適正化委員会を行い、確認している。 ・保護者に説明し、個別支援計画に記載している。		